

リリースノート - XENA Version 4.1



全般

初めてXENAカードを使う場合は、インストールCD内にある「Read Me First.PDF」を必ず確認してください。XENA 4.1ソフトウェアは、XENA LS/LSe、HS、LH/LHeとLHi、2K/2Keシリーズに新機能の追加と既知問題への修正が行われています。

動作環境

- ・ このインストーラを使用する前に、以前のXENAソフトウェアを取り除く必要があります。
 - ・ Windows XPの場合
 - ・ 「プログラムの追加と削除」を起動する
 - ・ 「AJA XENA Retail software」を選択し、「変更」ボタンを押す
 - ・ ダイアログボックスが表示されたら「Remove」をクリック
 - ・ Windows Vistaの場合
 - ・ コントロールパネルから「プログラムのアンインストール」をクリック
 - ・ 「AJA XENA Retail software」ソフトウェアを右クリックして「変更」を選択
- ・ QuickTime™ 7.6以上
- ・ Windows Vista 64bit（またはWindows XP/Vista 32bit）
- ・ 推奨システム環境と設定については、下記URLを参照してください（英語）。
<http://www.aja.com/support/xena/xena-system-configuration.php>
- ・ NVIDIA Quadroを使用する場合の推奨ドライバについては、下記URLを参照してください（英語）。
<http://www.aja.com/support/xena/xena-graphics-cards.php>
- ・ Adobe Premiere Proを使用する場合は、バージョン4.1以上
- ・ Adobe Media Encoderを使用する場合はバージョン4.0.2以上]
※このドライバはAdobe CS3をサポートしていません。
- ・ このインストーラをWindows Vistaで使用する場合は、インストーラを右クリックし、「管理者として実行」を選択し、管理者アカウントでの実行をお勧めします。ユーザーアカウント制御（UAC）を無効に設定している場合、このオプションは表示されません。

新機能

- ・ XENA LHiをサポート

改善点

- ・ Windows Vista 64bit版において、Adobe Photoshop CS4プラグインのインストール先を改善
Adobe Photoshop CS4プラグイン32bit版、64bit版それぞれのプラグインが正しい位置にインストールされるようになりました。
- ・ Windows Vista 64bit環境でPremiere Pro CS4使用中に、非リアルタイム部分の出力を修正
- ・ Windows Vista 64bit環境でのASIOドライバーのインストールに関する問題を修正
- ・ 日本語環境でのAdobe CS4プラグインのインストールに関する問題を修正
- ・ Premiere ProでDVCPRO HD 25/50 fpsのファイルの再生出力を改善

既知の問題

- ・ XENA HSは、DVCPRO HDやXDCAM EX、HDVの用な正方ピクセルではないフォーマットのRTをサポートしません。
- ・ Premiere Proの使用中に再生を停止した場合、CTIは1～2フレーム前にずれる場合があります。
- ・ Adobe Premiere ProからQuickTimeファイルをエクスポートする場合、AJAのFile exporterを利用しなければなりません。AJAの製品とPremiere Proで提供されるQuickTime File exporterを利用することは、Premiere Proがクラッシュする原因になる可能性があります。
- ・ AJAデバイスコントロールダイアログは、Premiere Proのキャプチャウインドウを閉じる前に閉じる必要があります。先にキャプチャウインドウを閉じた場合、Premiere Proがクラッシュします。
- ・ XENA HSでAJA XENAプリセットを使用する場合、シリアルデバイスコントロールの設定をAdobeのシリアルコントロールデバイスへ変更する必要があります。
- ・ 今すぐキャプチャ時には、RS-422経由でタイムコードの記録ができません。タイムコードが必要な場合にはRP-188エンベデッドタイムコードを使用して下さい。
- ・ 一部のSony製VTRをジョグ機能でリモートコントロールする場合、正しく動作されない場合があります。
- ・ AJA Real-Time croppingエフェクトは、Bottom to Top (B to T) 仕様の静止画連番ファイルには対応しません。使用した場合、レンダリングが必要になります。
- ・ Premiere Pro の設定のうち、「render RT files of different resolutions」のチェック/アンチェックの切替えは、すぐには効果が反映されません。プロジェクトを保存し、再起動する必要があります。
- ・ Variable Frame Rates(VFR)のプルダウン追加はタイムコードによる調節はできません。
- ・ 今すぐキャプチャ及びビデオにプリント時に、プルダウンフレームレートは動作しますが、インサートエディット及び、In/Outキャプチャ、バッチキャプチャでは動作しません。